

市長とおしゃべり しませんか

3月28日の「市長とおしゃべりませんか」は、知的障がいのある方が働く東区の「あかしあ学園」で行われました。通園者が作った絞り染めのTシャツを購入した市長は、それを着て登場。通園者やその家族、地域の方やボランティアらと、障がい者が地域で暮らしていくために必要なこと、施設に求めることなどについて話し合いました。

詳細／市民の声を聞く課 ☎211-2042



なかがわ
通園者 中川さん

ヘルパーさんと、**大通**や
札幌駅に行ったり、
食事に行ったりしたいです。

市長
から

休みの日に外出することで、仕事も頑張れますよね。買い物や外食などのときには、ガイドヘルパーの制度が利用できるようになったので、ぜひ利用して、楽しく充実した毎日を過ごしてほしいです。



させ
園生の保護者 佐瀬さん

「特別養護老人ホーム」に当たる
ような、知的障がい者の
高齢入所施設の設置を
お願いします。

市長
から

高齢者の施設には、個人の状況に応じた施設があるのに、知的障がい者についてはそのようになっていないということですね。知的障がい者の高齢入所施設について、しっかり検証していく必要があると思います。



あきやま
通園者 秋山さん

札幌で**地震**が起きたら
どうしたらいいのか、
とても不安です。

市長
から

最近地震が多くて、不安になったのでしょうか。万が一はぐれてもちゃんと会えるように、家族で話し合って、きちんと避難場所を決めておくことが大切です。



いぬいし
園生の保護者 犬石さん

今日のテーマは「障がいがあっても
安心して暮らせる街に」ですが、
将来、面倒を見る親がなくても
安心して暮らせる街であってほしい
と思います。

市長
から

まったくそのとおりですね。同じ地域に住む人同士思いやりを持ち、町内会などとも協力しながら、安心して暮らしていけるシステムをつくっていくことが大切だと思います。



さかい
ボランティア 酒井さん

今後、施設のボランティアについては、**地域住民**との
連携がさらに必要になる
と思います。

市長
から

あかしあ学園は、地域の方々に支えられて、みんな明るく生活されていると感じました。ボランティアをしようという気持ちになってもらえる呼び掛けをしていきたいと思っています。



かけはた
地域の掛端さん

イベントなどを通して
地域の方と障がい者が
交流するきっかけづくりを
しています。

市長
から

とても素敵なお話ですね。これからはまちづくりセンター所長にも頑張ってもらって、地域の中で、いろいろな問題意識を持って活動する人を結び付ける「横のネットワーク」が必要になると思います。